

市 町 村 名	安芸市
事 業 名	安芸市結婚新生活支援事業
事業の趣旨・目的	<p>本市では、これまで農業や商工業後継者対策として婚活イベントの開催やカップルの仲を取り持つ結婚専門相談員を配置し取組を進めてきた。しかしながら、低所得者の多い20代若年層の婚姻件数は漸減し、平均初婚年齢は年々引き上げられている。</p> <p>本市実施の結婚に関する意識調査では、結婚に踏み切れない一要因として「結婚資金が足りないから」や「経済的に安定すること」などが挙げられており、経済的負担軽減となる支援が必要である。</p> <p>このため、経済的不安を抱えている低所得者層世帯に対して、新婚生活の居住費や引っ越し費用を支援することにより、結婚の希望を叶え、出生率向上を目指す。</p> <p>本事業については平成28年度より実施しているが、年度途中(平成28年11月)からの実施であり、効果等について検証し、平成29年度事業内容に反映させる段階には至っていない。</p>
地域の実情と課題	<p>昭和35年から人口減少に転じている本市では、平成7年には約200人であった出生数が、現在は約100人と大幅に減少している。合計特殊出生率は1.46と全国平均であるが、20～40代の人口が平成17年の4,329人から平成27年には3,058人と減少傾向にあり、今後も出生数が増加に転じることは難しいと言える。</p> <p>加えて、未婚化、晩婚化が進行し、平成22年の生涯未婚率は男性29.2%（全国20.1%）、女性14.5%（全国10.6%）と全国的に見ても高い。また、平成17年の平均初婚年齢を見ると、男性は29.2歳、女性は27.7歳であったが、平成27年には男性が32.1歳、女性が30.5歳と上昇しており、晩婚化がますます進んでいる。</p> <p>未婚・晩婚、晩産、少子化の構図を変え、出生率を向上させるためには、初婚年齢の引き下げが重要である。</p>
市町村における結婚支援の全体像及びその中での本事業の位置づけ	<p>人口ビジョンの実現に向けて、「安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、人口減対策と社会減対策を基本に、以下の4つの基本目標でまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①産業振興により安定した雇用を創出する ②安芸市へ新しい人を呼び込む ③若い世代が安心して、結婚、出産、子育てができるまちをつくる ④時代に応じた地域社会をつくる <p>本事業は、上記取組の③に該当し、将来のライフステージごとに経済的負担や育児不安を取り除く一連の施策群を展開する中で、結婚環境の整備を図るものである。</p>
重要業績評価指標（KPI）及び定量的成果目標	<p>安芸市においては、所得340万円未満の新婚世帯を22件見込んでいる。より多くの新婚世帯に対して結婚に伴う経済的負担の軽減ができるよう、市広報誌やホームページ、フェイスブック等を活用した広報活動や、不動産業者等へ広く周知活動を勤めることにより、支給見込世帯(22件)の80%(18件)に対して補助金を支給することを目標とする。</p> <p>〈参考指標〉 安芸市まち・ひと・しごと創生総合戦略より 平均初婚年齢：男32.1歳(平成27年) → 30.8歳(平成31年) 女30.5歳(平成27年) → 28.7歳(平成31年) 合計特殊出生率：1.38(平成27年) → 1.50(平成31年)</p>
実 施 期 間	平成29年4月1日 ～ 平成30年3月31日